

院長新年の挨拶



院長 瀨中喜晴

謹んで新春のおよこびを申し上げます。

皆様おすこやかに新春をお迎えのことと存じます。本年が、希望に満ちた年になりますように、心より祈っております。

県立安芸津病院は、「地域にとって必要な病院」となるために、この数年来、「地域に密着した病院」を目指してきました。地域の皆様が必要と考えても、現在の医療情勢の中で、医師不足や、資金不足などにより、実現できていないことが沢山あります。医師不足は平成13・14年度の産科医(2名→0)に始まり、最近では、小児科医(2名→1名)、循環器内科医(2名→1名→非常勤)と医師が減少しています。医師不足は地域の中小病院での共通した問題となっています。このような状況下において「地域にとって必要な病院」となるためには、「地域に密着した病院」になることが必要と考えています。

- ① 「地域に密着した病院」とは、病院での入院治療だけでなく、退院後も地域で安心して生活できるように、地域の医療機関や福祉・行政などの皆さんと協力して、在宅療養を支援していく病院です。当院の訪問看護、訪問リハビリ、訪問診療も少しずつ増えてきました。地域の皆様との連携を強めていきたいと思っています。
- ② 「地域に密着した病院」とは、地域の医療機関や福祉施設をバックアップして、入院治療や救急医療を行う病院です。医師減少の状況下では、2次救急医療が毎日ではできなくなって、県立安芸津病院・安田病院・馬場病院の3病院が輪番制で当番日を決めて担当しています。県立安芸津病院は月曜と木曜の担当となっています。日曜・祝日も順番に当番病院が決められています。当番日以外でも、入院患者さんの急変時に対処するために医師が当直していますので、まず電話で病状をお知らせいただき、当院で救急処置が可能な場合は、受診していただいております。
- ③ 「地域に密着した病院」とは、「健康長寿」の地域づくりを支援する病院です。医療公開講座をはじめとして、転倒予防の健康体操や講演会、地域の催しへの参加を通じて健康に対する意識を向上させ、予防医療を推進します。結果として、地域の皆様が元気になり、地域が活性化されて、安心して暮らせる地域となることを目指しています。

県立安芸津病院は、高度な検査機能、入院診療機能を生かして、地域の医療機関と連携して、皆様が地域の中で安心して暮らせるような地域医療連携体制をつくっていきます。

皆様にとって県立安芸津病院は、いつでも診てもらえる、身近で安心できる「たよりの医療機関」となれるように、これからも、一つ一つ取り組んでいきますので、皆様が本年も安芸津病院をすすんでご利用いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。